2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	小児病態生理学特論Ⅰ・Ⅲ	曹 英樹

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）, 特論Ⅲ：1/年	

目的

小児外科の研究者として，小児外科疾患の病態生理，手術等の治療効果の評価法を習得する。

授業到達目標

（1）腸管不全の診断，治療について理解，説明できる。
（2）腸管の再生医療について理解できる。
（3）小児の低侵襲手術の評価について理解，説明できる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	月	17:00-18:00	曹 英樹 吉田 篤史 久山 寿子	講義	[症例検討会]	患者データからその病態と治療方針を説明し，最新の文献を紹介する。 [場所:本館棟６階小児外科学実験室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1） 1年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1） 1年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2） 1年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

提出された紹介論文の要約を確認し，解説・指導する。

教科書

ISBN-9780323072557, Pediatric surgery (7th Edition), Arnold G. Coran, et al., Elsevier Saunders, 2012

参考書

ISBN-9784260047968, 標準小児外科学, 仁尾正記, 奥山宏臣, 田尻達郎編集, 医学書院, 2022
ISBN-9784815919115, 系統小児外科学, 福澤正洋 他, 永井書店, 2013
ISBN-9784907095505, 最新新生児外科学, 窪田昭男, 奥山宏臣編集, ぱーそん書房, 2019

準備学習（予習・復習等）

（1）予習（３０分程度）：手術のために入院してきた患者の評価を自ら行い，治療方針を立てる。
（2）復習（３０分程度）：経験した症例についてレポートを作成し提出する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

独自の研究課題を報告し，胸壁異常の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

大学院生として小児外科学の勉強，研究に熱心に取り組んでください。